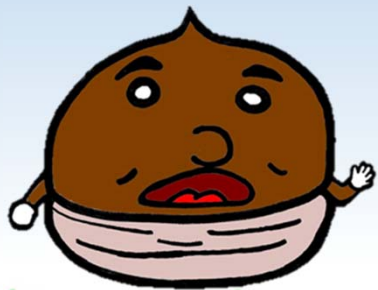


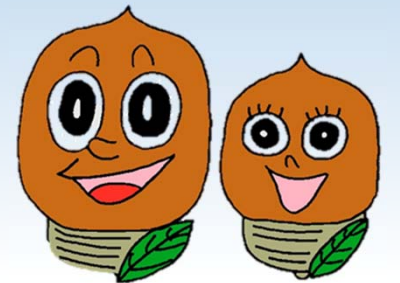


副作用機序別分類

～みんなで学び、みんなで広めて、薬剤師の常識に～



NPO法人 どんぐり未来塾



こんな事はありませんか・・・？

① 服薬指導で

- ✓ 初処方薬について・・・
どの副作用を伝えよう？
- ✓ 継続服用薬について・・・
どの副作用について確認しよう？



こんな事はあいませんか・・・？

② 副作用に関する問い合わせ

✓ 患者さんからの訴えに対して
副作用！でも、どうしよう・・・

✓ 医師への情報提供

副作用かもしれません・・・

他に情報提供できる事はないかな？



副作用機序別分類を活用すると・・・

① 薬剤服用期間に合わせた

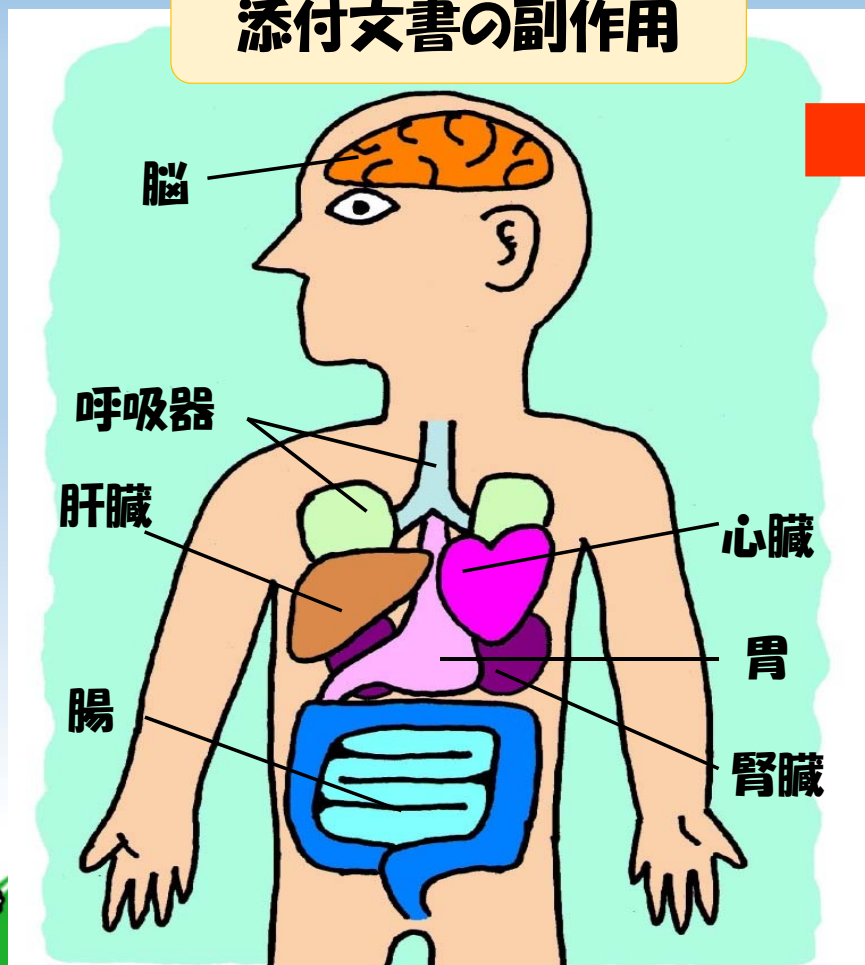
- ✓ 副作用情報提供
- ✓ 副作用確認

② 機序別分類に応じた副作用発現時の

- ✓ 薬剤服用の継続可否

副作用機序別分類とは？

添付文書の副作用



薬理作用



薬物毒性



薬物過敏症

臓器別ではなく**機序別**に
考えると
予測して防ぐ工夫が
できます！

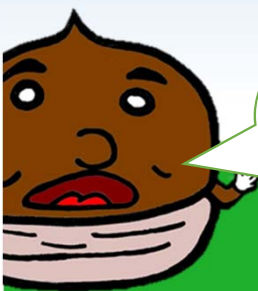


薬理作用による副作用

- 期待される薬理作用が**過剰**に発現
(降圧薬によるふらつき など)
- **副次的な**薬理作用
(ARBによる高カリウム血症 など)
- 薬理作用が**なくなる**とき
(SSRIの中断によるめまい など)

あらかじめ患者さんに
伝えておいた方
がいいね！

頻度が高い
副作用だから、
注意が必要だよ！



薬物毒性による副作用

- 薬の代謝負荷や通過刺激など
- 投与量や投与期間に依存
- 定期的な検査によるチェックが重要

代表的なのは腎臓と肝臓
他に、消化管、血液、
神経系に毒性を示す
くすいもあるよ！

検査を受けているか？
患者さんに確認する
ことが大切だね！



薬物過敏症による副作用

薬物過敏症が疑われたら...

- **即座に投与を中止する**
- **同じ薬はその先使わない**
- **骨格が似ている薬にも注意**

投与開始6ヶ月間は
しっかりとチェックする
ことが大切だね！

重篤なものが多く、
あらゆる薬であらゆる
臓器に起きる副作用だよ！



薬物過敏性肝障害と肝毒性の違い

項目	薬物過敏症肝障害	肝毒性
発現時期	投与開始後数日～4週位	投与開始後数ヶ月位
初期症状	発熱、発疹、掻痒感	食欲不振、吐き気
検査値	急激なAST、ALT上昇	AST、ALT上昇
末梢血液像	好酸球・白血球増加	変化なし
感受性試験	陽性の率が高い	陰性
薬剤再投与	すぐに肝障害発現	すぐには出ない



副作用機序別分類 まとめ

副作用機序	特徴	チェック	対策
薬理作用	<ul style="list-style-type: none">  発生頻度：高い  投与量に依存  中断症候群あり 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 常にチェック ✓ 副次的作用 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 減量 ➤ 緩和な他剤へ変更 ➤ 段階的に減量
薬物毒性	<ul style="list-style-type: none">  投与量に依存  投与期間に依存 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 定期的問診 ✓ 定期的検査 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 様子を見ながら投与継続 ➤ 他剤変更 ➤ 投与中止
薬物過敏症	<ul style="list-style-type: none">  発現頻度：低い  投与量に非依存  6ヶ月以内に発現 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 初期症状の問診・検査 <p>※投与開始6ヶ月間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 即時投与中止 ➤ 同系他剤注意 ➤ ステロイド併用

**副作用機序別分類を活用して
患者さんを副作用から守いましょう！！**

